

平成 24 年度事業報告書

(平成 24 年 3 月 1 日から平成 25 年 1 月 31 日まで)

①会員の研究発表会、学術講演会等の開催（定款第 4 条第 1 号）

- ・第 112 回日本外科学会定期学術集会を下記のとおり行った。

日時 平成 24 年 4 月 12 日～14 日

場所 幕張メッセ/ホテルニューオータニ幕張（千葉市）

参加者数 12,500 名 演題数 2,600 題

テーマ 「New Perspective for Academic Surgical Excellence—新たなる外科学の確立—」

②機関誌、論文図書等の刊行（定款第 4 条第 2 号）

- ・学会誌「日本外科学会雑誌」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成 24 年 2 月 10 日	113	臨時増刊 1	38,800
平成 24 年 3 月 1 日	113	2	38,300
平成 24 年 3 月 1 日	113	臨時増刊 2	39,200
平成 24 年 5 月 1 日	113	3	38,550
平成 24 年 7 月 1 日	113	4	38,750
平成 24 年 8 月 15 日	113	臨時増刊 3	37,750
平成 24 年 9 月 1 日	113	5	37,850
平成 24 年 11 月 1 日	113	6	37,900
平成 25 年 1 月 1 日	114	1	38,000

- ・Official Journal「Surgery Today」およびオンライン・ファーストを下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数（電子ジャーナル発行分含む）
平成 24 年 2 月 1 日	42	2	40,000
平成 24 年 3 月 1 日	42	3	40,000
平成 24 年 4 月 1 日	42	4	40,000
平成 24 年 5 月 1 日	42	5	40,000
平成 24 年 6 月 1 日	42	6	40,000
平成 24 年 7 月 1 日	42	7	40,000
平成 24 年 8 月 1 日	42	8	40,000
平成 24 年 9 月 1 日	42	9	40,000
平成 24 年 10 月 1 日	42	10	40,000
平成 24 年 11 月 1 日	42	11	40,000
平成 24 年 12 月 1 日	42	12	40,000
平成 25 年 1 月 1 日	43	1	40,000

③内外の関係学術団体との連絡及び提携（定款第4条第3号）

- ・ドイツ外科学会, American College of Surgeons (ACS), Society of University Surgeons (SUS) と若手外科医の交換交流を行い, International Federation of Surgical Colleges (IFSC) の加盟を継続した.
- ・日本医学会, 日本医療機能評価機構, 日本女性外科医会の活動に積極的に参画した.
- ・外科系15学会と外科関連学会協議会を組織して, 外科医の労働環境についてのアンケートを協働で実施した.

④外科学に関する研究及び調査（定款第4条第4号）

- ・標準手術ビデオを5本作成して, ビデオライブラリーに収載した.
桑野 博行（群馬大学）
「食道癌に対する小開胸併用胸腔鏡下食道切除術および胃管による再建術」
古森 公浩（名古屋大学）
「腎動脈再建を伴う腹部大動脈瘤手術」
亀岡 信悟（東京女子医科大学）
「開腹による直腸癌手術—メディカルデバイスの応用—」
北野 正剛（大分大学）
「腹腔鏡補助下幽門側胃切除術」
田尻 孝（日本医科大学）
「先天性胆道拡張症に対する腹腔鏡下分流手術」

⑤外科専門医の育成と専門医制度の運用（定款第4条第5号）

- ・外科専門医制度に則り, 外科専門医を認定し, 指導医を選定し, 認定登録医を登録し, 指定施設と関連施設を指定した.
- ・日本専門医制評価・認定機構に参加し, 研修施設訪問調査や, 専門医に関する第三者機関の設立などに協力した.

⑥研究の奨励と優秀な業績の表彰（定款第4条第6号）

- ・「外科臨床研究の利益相反に関する指針」に則り, 該当者から利益相反自己申告書を回収した.
- ・第9回臨床研究セミナーを下記のとおり開催した.
日時 平成24年4月14日
場所 幕張メッセ（千葉市） 参加者数 544名
- ・第19回研究奨励賞を表彰した（5名）.
渡邊 昭博（九州大学大学院 消化器・総合外科）
Effect of intra-abdominal absorbable sutures on surgical site infection 42 : 52-59
奥山 稔朗（福岡市立病院機構 福岡市民病院）
Prognostic effects of oral anti-cancer drugs as adjuvant chemotherapy for 2 years after gastric cancer surgery 42 : 734-740
中桐 伴行（大阪大学大学院医学系研究科呼吸器外科学）
Lung function early after lung transplantation is correlated with the frequency of regula-

tory T cells 42 : 250-258

森前 博文 (名古屋大学大学院血管外科学)

Cost disparity between open repair and endovascular aneurysm repair for abdominal aortic aneurysm : a single-institute experience in Japan 42 : 121-126

伊藤 心二 (九州大学大学院 消化器・総合外科)

Zero mortality in more than 300 hepatic resections : validity of preoperative volumetric analysis 42 : 435-440

- ・第112回定期学術集会のビデオ演題のうち、優秀な8演題をビデオライブラリーに掲載して、制作補助費を支給した。

大森 健 (大阪警察病院外科)

「胃がんに対する腹腔鏡下胃切除術の工夫—単孔式腹腔鏡下胃切除術—」

荻野 均 (東京医科大学心臓血管外科)

「自己弁温存大動脈基部置換±大動脈弁形成」

絹笠 祐介 (静岡県立静岡がんセンター大腸外科)

「肛門・泌尿生殖器機能温存を追求した腹腔鏡下直腸癌手術手技」

河野 匡 (虎の門病院呼吸器センター外科)

「呼吸器外科領域における3-port 胸腔鏡手術」

谷口 桂三 (藤田保健衛生大学上部消化管外科)

「腹腔鏡下幽門側胃切除後における体腔内吻合の手術手技とその短期成績

—特にBillroth II法について—」

中村 慶春 (日本医科大学臓器病態制御外科)

「腹腔鏡下脾切除術の標準化を目指した手術手技について」

松居 喜郎 (北海道大学循環器外科)

「僧帽弁複合体形成術 (僧帽弁輪縫縮・乳頭筋接合・乳頭筋吊り上げ)」

安田 卓司 (近畿大学外科)

「図解と映像による術前化学療法後の進行胸部食道癌に対する上・中縦隔郭清手技」

⑦生涯学習活動の推進 (定款第4条第7号)

- ・第81回卒後教育セミナーを下記のとおり行った。

日時 平成24年4月14日

場所 幕張メッセ (千葉市) 参加者数 1,269名

テーマ 「臓器移植の現状」

- ・第82回卒後教育セミナーを下記のとおり行った。

日時 平成24年12月1日

場所 京王プラザホテル (東京都) 参加者数 435名

テーマ 「医療機器の基礎と臨床—適応と限界まで—」

- ・第20回生涯教育セミナーを下記のとおり行った。

テーマ 「緩和医療」

(北海道地区)

日時 平成25年1月19日

場所 札幌医科大学臨床教育研究棟 (札幌市) 参加者数 112名

(東北地区)

日時 平成24年9月15日

場所 ハーネル仙台(仙台市) 参加者数 64名

(関東地区)

日時 平成25年1月26日

場所 千代田放送会館(東京都) 参加者数 161名

(中部地区)

日時 平成24年6月3日

場所 信州大学附属病院外来棟(松本市) 参加者数 62名

(近畿地区)

日時 平成24年5月26日

場所 大阪国際交流センター(大阪市) 参加者数 138名

(中国四国地区)

日時 平成24年9月14日

場所 米子コンベンションセンター(米子市) 参加者数 51名

(九州地区)

日時 平成24年5月19日

場所 佐賀マリトピア(佐賀市) 参加者数 64名

- ・若手外科医の手術を含めた診療能力向上のための「一病院間医師交流による若手外科医師の教育プロジェクト」を開始した。

⑧外科診療に関する情報や指針の提供(定款第4条第8号)

- ・National Clinical Database(NCD)に参加し、外科症例登録のデータベース事業に協力した。
- ・「臨床医学の教育研究における死体解剖のガイドライン」に基づき、「遺体による手術手技研修等の実施報告書・経理報告書」を作成し、周知した。

⑨国民に対する外科医療の情報提供の啓発(定款第4条第9号)

- ・広報活動として、第38回市民講座を下記のとおり行った。

日時 平成24年4月15日

場所 千葉大学けやき会館(千葉市)

テーマ 「ここでしか聞けない手術のお話し」

参加者数 150名

⑩医療政策に関する建議(定款第4条第10号)

- ・外科系学会社会保険委員会連合(外保連)に参加し、外科技術料に関する適正な診療報酬についての調査収集と、その結果を元にした関係官庁などへの要望書提出に協力した。
- ・日本医療安全調査機構に参加し、死因の調査分析事業に協力した。
- ・医療事故に係る調査を行う第三者機関のあり方についての試案をまとめ、厚生労働省に提出した。
- ・「チーム医療推進会議」に協力し、特定看護師(仮称)に関する制度の創設を図った。

- ・「ティーエスワン」食道癌への保険適用に関する再要望書を厚生労働省に提出した。

⑪その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第7号）

- ・代議員の選挙制度見直しについて検討した。